

フランス語インテンシブⅣ
慶應義塾大学 SFC フランス語教室
2017 年春学期

フランス語インテンシブⅣを終えると、《SFC のフランス語》の黒帯です。そこから先に本当のフランス語習得の醍醐味があるのですが、ともあれワンステップを越えたといえるでしょう。そのラインをめざして、もう一頑張りしましょう！

SFCにおけるフランス語教育は、実際にフランス語を読み、書き、話し、聴き取ることができるようにすることを目標としています。そのためには、文法を言葉のしくみとしてしっかり学び、語彙を豊かにしていくと同時に、それを運用するエクササイズが不可欠です。なるべくインターラクティブな授業を進める中で、総合的な外国語運用能力に養います。

週2回の授業がひとつのセットになった「コア授業」では、担当教員が独自に用意する教材を用い、文法事項なども丁寧に押さえながら授業を進めていきます。そのほかの曜日については、週1回が「読む・書く」、もう1回が「話す・聞く」という力を伸ばすための授業を行ないます。

インテンシブ・コースはⅠからⅣまで、次のように総合的に設計されていますので、本格的に力をつけたい諸君にはぜひそのコースに沿って履修してください。国内研修と海外研修の詳細については、シラバスの各項目をみてください。

インテンシブⅠ → (国内研修 et/ou 海外研修) → インテンシブⅡ
→ (海外研修 et/ou 国内研修) → インテンシブⅢ → (海外研修 et/ou 国内研修)
→ インテンシブⅣ → フランス語・スキル

塾外実力試験では、インテンシブⅢ修了後の次の学期に DELF 試験の B1 をクリアするのが目標です。(もし B2 をクリアできれば素晴らしい！)

大切なのは、授業に積極的に参加することにつきます。教室の中はひとつのシミュレーションの場ですから、間違えることなど恐れずに、提示される状況の中でどんどん「行動」して「場数を踏んで」ください。外国語学習の初歩では、進歩は勉強にかけた時間に比例します。

質問がある場合は、λ310 のフランス語研究室へどうぞ。ここには教員だけでなく、CA (コーディネーターアシスタント)、TA、SA がいます。気軽に足を運んでください。またフランス語研究室からの連絡はメールか、HP で行います。 [http:// french.sfc.keio.ac.jp/](http://french.sfc.keio.ac.jp/)はいつも見るようにしてください。では...

Allons-y !

時間割

	火	水	木	金
4 FA	2 限 : 井上 ●	2 限 : 岡見 ▲	1 限 : Veysseyère ▲	3 限 : Mailleux ■

授業は週 4 回。週 2 回はコア授業 (▲)、1 回は読み書き (●)、1 回は<使ってみよう> (■)

コア授業 (▲) について

- 授業の構成、内容

水曜日と木曜日の授業は連携して進みます。木曜日の授業では、フランス語で書かれた比較的短い文章を毎回担当教員が用意し、その文章についてフランス語でやり取りをしながら、さまざま言い回しや語句を身に着けていきます。水曜日の授業では、その文章や身に着けた表現を文法の角度から捉え直して、正確な理解や表現ができるようになることを目指します。

その他自習で使える WEB 教材

「フォローアップ・フランス語」SFC フランス語教室制作：
<http://fuf.sfc.keio.ac.jp/> で、動画で楽しく文法が学べます。

読み書きの授業 (●) について

インテンシブ 3 から 4 へと継続して、もともと学習教材として書かれたのではない、本物の文学作品を講読します。仏文読解力を養いつつ、作文力をも身につけていくのが目的です。じっくり取り組み、近い将来、さまざまなテーマ研究の中で出会う文献・資料を正確に読み取る力、自分の思考内容を明快に記述する力、つまり、単なる会話を超えて中身の濃い研究やディスカッションを行う際の基礎になるような堅固なフランス語力を養っていきましょう。

1. テキスト

KRISTOF, Agota : *Analphabète, récit autobiographique*, Carouge-Genève, Ed. Zoé, 2004。コピーを配布します。授業開始後、音源も配布します。

2. 学習方法

学習の主体は、いうまでもなく学生です。この授業では「読む」ことが基本ですから、仏和辞典と首っ引きになっても、まずは自分でテキストを読みとる努力をした上で教室にやってくるのが重要です。そもそも読むとはどういうことなのか、どんなふうに構文を掴めばよいのか、それは教師が徐々に教えますが、学生一人ひとりができるだけ自律的にテキスト読解に取り組み、困難を超えて、読み進める楽しみに開眼することが望ましいのです。

しばしば、テキストの指定箇所の書き取りと暗誦の準備を課します。語彙や基本的な言い回しの獲得を確かめる小テストを行う場合もあります。ともあれ、きちんとテキストを読み進めることを主眼にします。

3. 授業スケジュール (幾分の変更はあり得ます。)

週	学ぶテキストの章のタイトル

1	(導入)
2	La mémoire 1
3	La mémoire 2
4	La mémoire 3
5	Personnes déplacées 1
6	Personnes déplacées 2
7	Le désert 1
8	Le désert 2
9	Comment devient-on écrivain ? 1
10	Comment devient-on écrivain ? 2
11	L'analphabète 1
12	L'analphabète 2
13	(復習)
14	期末試験

<使ってみよう>の授業 (■) について

この回の授業は、コア授業 (▲) と読み書きの授業 (●) で学習したフランス語を実際に使いながら身に着けることを目指します。その週に覚えたことの復習も兼ねながら、特に重要な事柄や表現を拾い上げて、それらを実際にどのように使えばよいのかということを行います。

成績評価の方法

教員 4 人×25 点	合計 100 点
-------------	----------

期末試験

最終試験は、各担当教員の最後の授業の回 (7 月 11 日火曜、19 日水曜、20 日木曜、21 日金曜) に行ないます。

※追試は一切行ないません。

ただし、petit test など、普段の授業での課題も評価の対象となります。25 点の内訳は、各教員が授業初回時にアナウンスします。

Conférence / Grande Rencontre

今学期はレクチャーを1回、Grande Rencontre（インテンシブ・フランス語を履修している学生が一同に集まる会です）を1回予定しています。

- 5月10日（水） Grande Rencontre
- 6月15日（木） Conférence

Conférence, Grande Rencontre は、インテンシブ・コースの一環です。

Conférence, Grande Rencontre の日は、インテンシブの通常の授業は行ないません。

時刻・場所は後日、メールおよびフランス語セクションのホームページで明示します。

国内研修

アンスティテュ・フランセ東京（旧称：東京日仏学院）で春休み、夏休みに行なわれる SFC オーダーメイドの短期集中特別コースです。午前中は少人数クラスによるフランス語学習、午後は各種アトリエに選択参加。他大学の学生と机を並べ、充実した勉強をすることができます。今年の8月下旬から行なわれる予定の研修内容は次の通りです。

2017年8月22日（火）～9月1日（金） 10時30分～18時15分 計8時間＝合計48時間

8月26日（土）、27日（日）、28日（月）は授業はありません。

受講料：84,000円（年会費不要）

海外研修

以下の6カ所で、年2回実施（春季、夏季）しています。2単位と4単位の2種類の研修があります。詳細は学期中に催される海外研修説明会で説明します。

フランシュ＝コンテ大学応用言語学センターCLA（ブザンソン）、グルノーブル第3大学フランス語教育センター、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ルーアン、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・マルセイユ、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ボルドー、クレルモン＝フェラン大学協定校（ヴィシー）

ラジオ・テレビ

NHKのフランス語講座の時間帯は次の通りです。ぜひ活用してください。

ラジオ：まいにちフランス語

放送： 月～金曜日 午前7：30～7：45

再放送： 同日 月～金曜日 午後2：30～2：45

再放送： 翌週 月～金曜日 午前11：00～11：15

テレビ：テレビでフランス語

放送： 水曜日（火曜深夜） 午前0：00～0：25

再放送： 翌週 木曜日 午前6：00～6：25

そのほかに、次のようなサイトもあります。

<http://www.nhk.or.jp/daily/french/> 日本のニュースをフランス語で聴けます。

<http://www.radiofrance.fr/> フランスのラジオ局（複数）の放送が聴けます。

<http://jt.france2.fr/> フランスの公共放送局 France 2 のニュースを視聴できます。

<http://www.lemonde.fr/> フランスの高級紙 *Le Monde* を読むことができます。

DELF/DALF

DELF および DALF という「フランス文部省認定フランス語資格試験」は、1986年5月より

行われているフランス文部省認定フランス語資格試験で、セーヴルの中央機構 **Commission Nationale** 全国委員会の管理のもと世界 150 余カ国で実施されています。

DELF・DALF はいわば世界標準的な資格ですから、フランスやフランス語圏の国に留学する際、言語資格面での保証となります。日本で各種奨学金試験に応募する際にも、その資格は仏検と並んで多くの場合強い味方になります。

DELF は A1, A2, B1, B2 の 4 段階、DALF は C1, C2 の 2 段階に分かれています。B1 クリア、そしてできれば B2 クリアの力を身につけるのが、インテンシブ 4 の (かなり野心的な) 目標です。詳しくは DELF/DALF 試験管理センターの URL を参照してください。

→ <http://www.calbasa.com/delfdalfjp/index.html>

(SFC フランス語研究室のホームページにリンクが張ってあります。)

TCF

TCF (Test de Connaissance du Français フランス語能力テスト) はフランス文部省公認の世界共通の、フランス語圏以外の国の人々を対象としたフランス語能力診断テストです。試験結果は合格でなく、得点で示されます。獲得得点は 2 年間有効です。試験は内容別に 3 つ (読解, 文法, 聞き取り) にわかれ、フランス語の総合力を確実にかつ正確に診断するとしています。

SFC はこの TCF の実施会場の一つです。試験は現在のところ 2017 年 7 月の土曜日に実施予定ですが、詳細についてはメール等で改めて連絡します。

<http://www.ifjtokyo.or.jp/cours/examens/types.php>

Niveau du Conseil de l'Europe 欧州評議会設定レベル		TCF	DELF/DALF
レベル 6	非常に優れたフランス語の運用能力を持つ。読むもの、聞くものの全てを即座に理解し、且つ的確に要約することが出来る。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交えつつ流暢に意見を述べる事が出来る。	600~699 点	DALF C2
レベル 5	フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、その殆どを解し、自分の社会的な立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについても、流暢且つ論理的に述べる事が出来る。	500~599 点	DALF C1
レベル 4 autonome	フランス語を全般にわたって自主的に運用出来る。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に加わり、筋の通った意見を明確且つ詳細に述べる事が出来る。	400~499 点	DELF B2
レベル 3 seuil	フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現なら理解する。旅行先で会話をこなし、自分に興味のあることを話す事が出来る。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。	300~399 点	DELF B1
レベル 2	フランス語の初歩をマスター。身近な分野の単文を理解。慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関	200~299 点	DELF A2

	する問題を単純な手段で表現出来		
レベル 1 survie	フランス語の基礎レベル。日常生活での単純且つ具体的な状況を理解する。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションも可能。	100～199 点	DEL F A1

仏検（実用フランス語技能検定試験）

◇ 春の仏検には1・2・準2・3・4・5級の各試験があります。

実施日程

1次試験（1・2・準2・3・4・5級） 2017年6月18日（日）

2次試験（1級・2級・準2級の1次合格者対象） 2017年7月16日（日）

受付期間

願書郵送による申し込み : 2017年4月1日（土）～5月17日（水）消印有効

インターネットでの申し込み : 2017年4月1日（土）～5月24日（水）23:59まで

*SFC フランス語研究室では団体申込みを行います。受験料が5%安くなります。SFCでの申し込み期間は、追ってHPやメールで知らせます。

問い合わせ先 (<http://apefdapf.org/>参照)

財団法人フランス語教育振興会 仏検事務局

tel: 03-3230-1603 fax: 03-3239-3157

メディアセンターのMMLS（マルチリンガル・スペース：上記参照）に、過去の問題集（音源付き）があり、フランス語研究室前にはパンフレットなどが置いてあります。また個々の相談にも応じます。チャレンジしよう！

マルチリンガル・スペース（MMLS）

メディア・センター2階は「マルチメディア・マルチリンガル・スペース」があります。その居心地の良い空間にはCD-ROM、CD、ビデオ、雑誌、新聞、辞書、参考書（仏検、DEL F・DAL F参考書も）などフランス語の勉強に必要なものは何でもそろっています。

また、フランス語共同研究室隣のλ309にもフランス語版MMLSがあります。ここには初級から中級までのフランス語の絵本、漫画、小説などもそろっています。教員やTA、そしてSAもすぐ近くに居るので、何か質問があればいつでもたずねることができる贅沢な空間です。その上、フランス語の衛星放送TV5も見ることができます。あとはあなたのやる気次第。どんどん利用して、フランス語の達人になりましょう！

2017年4月
慶應義塾大学 SFC フランス語教室